



はなみずき

vol. 30
MAY. 2022

ささえるひと
看護部長 竹内美佐子
新たな取り組み
オンライン面会
新連載
チャプレンの窓
管理栄養士おすすめ
季節のレシピ

救世軍清瀬病院看護部長 竹内美佐子



いつも穏やかな表情でスタッフに接し、周りからの信頼も厚い。常に冷静でベストな判断を下せるのは、積み上げたキャリアの証でもある。当院の看護部長に就任して1年弱、コロナ禍の今、何を思っているのだろう。ルーツとその心の内を少しのぞかせてもらった。 インタビュアー：総務課 小川

小川：本日はお忙しいところお時間をいただきましてありがとうございます。今日は竹内看護部長のお話をいろいろとお聞きしたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

竹内：宜しくお願い致します。

小川：早速ですが、どのような幼少期を過ごされたのかお聞かせください。

竹内：幼少期ですか(笑)? そうですね。私は曾祖父の代から始まった靴職人の家庭に育ちました。家内工業だったので家族全員で仕事を手伝っていましたし、他に職人さんたちもいて、大家族状態という環境でした。私も靴箱にラベルを貼る手伝いなどをしていましたね。



小川：それはとても興味深い話ですね。家業のお話もお聞きしてもよろしいですか。

竹内：はい。明治時代に曾祖父が「これからは洋装の時代だ」と、伊勢より上京し、靴の製造を始めたのがはじまりで、その後、祖父、父へと代々受け継がれてきました。明治時代の当時は靴がめずらしいもので、初めは注文生産でしたが、時代の流れもあり大量生産が出てきて、社交ダンスの靴ヘシフトしていきました。

小川：それはすごいお話ですね。でも、どうしてその環境から看護という道へ進んだのでしょうか？

竹内：小学校3年生の時にロッカーに上って掲示物を貼っていた時に、不注意から落ちて怪我をして入院する事になりました。その時、すごく怖い先生と天使のように優しい看護師さんという組み合わせで(笑)。家族も皆、仕事に忙しく、あまり構ってもらえなかったこともあり、入院をして看護師さんが自分だけを見て、優しくしてくれた事に感動したのが看護師になるきっかけでした。その病院は小児科だったので、他の子ども様々な病気を抱えていて、病院から学校へ通っている子どももいました。「健康は重要だな」「優しさってありがたいな」というのが原風景となっています。

小川：やはり幼少期の体験は将来に大きな影響を与えるものなんですね。看護師になられてから様々な経験をされてきたと思いますが、当院へ来られるまでの経緯などをお聞きかせください。

竹内：前々職の病院には25年勤務し、15年の看護部長の経験後に本部の人材育成本部長として従事していました。しかし理事長が体調を崩されて本部が縮小傾向となり、先を案じていたタイミングで新設病院の立ち上げの話をいただきました。自分のキャリアとして病院立ち上げを経験することは貴重だと考え、前職の病院に転職しました。その後、院長の交代と、私自身が60歳を迎えるタイミングということで、今までとは違う病院で働きたいと思うようになりました。

小川：その時どのような変化を感じていましたか？

竹内：今までは「基準を取る」とか、「稼働を上げる」という事に力を注いできましたが、もう少し腰を据えて診療、看護の質や中身に目を向けて、落ち着いて取り組みたいと考えようになりました。また、今後は高齢化ということもあり、慢性期医療が重要になるとも感じていました。救世軍清瀬病院は歴史もあり、慢性期の病棟と緩和ケア病棟の病院ということでトライしてみようと思いました。



小川：そのような経緯だったんですね。しかしコロナ禍となり、思うように看護に向き合うことが難しいようですが、従来の看護との違いや新たな取り組みについてはいかがですか？

竹内：そうですね。感染対策を厳密にやろうとすると面会などの制限がかかり、ご家族にも会えないということが起きてきます。特に高齢者ですと、そういった孤独感によって「生きていこう」とする原動力が損なわれてしまっているように思います。基本的に看護、介護の専門職は「生命力の保持、増進」が専門性だと思っています。病気の有る無しにかかわらず「生きたいと願う力」ですとか「苦しくても大変でも生きていこうとする力」を育み、支えるのが看護、介護の役割だと思っています。しかしコロナ禍では患者さんにとって一番の力になる「ご家族の支え」であるとか「季節の彩りを感じて楽しむ」といった事が損なわれています。

職員が患者さんにできる事の制約も多いです。また現実的に消毒作業もそうですし、入浴や食事にしても個々に行うなど労力が非常に増えました。職員自身もそうですが、職員の家族にも体調不良者がいると休みとなり、人手が少ない中でやる事も増え、ストレスを抱えやすいという状況です。コロナ禍での変化で言えば、職員の様子を見ながら、「いつまでこの状況が続くのか」という不安と、自身への感染の不安や、感染拡大の不安、またレクリエーションなども制限される中、元気がなくなる患者さんを見てモチベーションも下がるといった変化があります。自己啓発のための研修や気分転換もままならなかったり、という中でどうやってメンタルを保持し、ポジティブに頑張っているか、というのが非常に苦労するところです。



小川：そのような厳しい環境下で看護業務を遂行するのは容易ではないと思います。各々モチベーションを上げる何かがないと気持ちが落ちてしまいますね。

竹内：そうですね。私たちの病院は朝礼を Teams というチャットアプリケーションで行っていますが、毎朝チャプレンの方々から初心を忘れず今あることに感謝するというようなメッセージを送っていただいています。とてもありがたいことだと感じています。そういった精神的な支えが必要だと思えますね。体だけでなく、心の健康も大切だと感じます。

小川：今後の課題や取り組んでいきたいことなどをお聞かせください。

竹内：自分のできる事を精一杯頑張る事で、病院のみならず世の中の為に役に立てればと思っています。救世軍という世界的に非常に意義のある活動をしている組織の病院ということで、その名に伴う人材育成や、医療・ケアの質を高め、他院に比べて「いいケアをしているな」と言われるような病院になればいいなと思います。管理職としては、「職員を支える」事が重要だと思っています。患者さんを支えるのはスタッフで、そのスタッフを支えるのが管理職です。そのため管理職は仕組みと環境を整えて、職員を育成するチャンスをつくるのが仕事だと教え、頑張るのは本人ですが、それを支える仕組み、環境づくりに貢献できたらいいなと思います。そのようなことを通して、当院の職員を支えていけるように努めたいと思います。

小川：素晴らしいお話を聞いて良かったです。貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。

竹内看護部長は笑顔で「お疲れ様でした」と頭を下げ、颯爽と病棟へ戻っていきました。コロナ禍でマスクをしたままのインタビューとなりましたが、竹内看護部長の生い立ちから現在に至るまで、たくさんのお話を聞くことができました。

たけうち みさこ /

慶応義塾大学医学部附属厚生女子学院卒業
グリフィス大学大学院修士課程卒業
認定看護管理者

千葉の民間病院で看護部長を15年務めた後、
新設病院の開設準備室から関わり人材育成本部長を2年経験。2021年8月から現職。



次号の

ささえるひと

は

救世軍医療部長
西村和江少佐
を予定しています

新たな取り組み

オンライン面会 理学療法士：白木美代子

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、患者さんからも、ご家族からも心配や不安の声が上がりました。その不安や寂しさを少しでも取り払うことはできないかという職員の思いが重なり、2020年8月よりオンライン面会がスタートしました。

実際にオンライン面会が始まって

「顔色良さそうだね」「ごはん、しっかり食べてね」「早く会えるようになるといいね」など、ご家族からの優しい声掛けに患者さんは、うなずいたり手を振ったりして反応されます。ご家族が工夫を凝らしており、歌を歌って聞かせてくださる方、昔の思い出写真を見せてくださる方、患者さんが住んでいたご自宅の様子を映してくださる方、大勢のご家族を繋いでにぎやかな様子を届けてくださる方、海外から参加されるご家族もいらっしゃいます。それぞれの形で、和やかな温かい時間が流れています。

私たちはリハビリで日頃、患者さんと近く接しています。ある意味で、患者さんの元気を引き出すプロであると思っています。ですが、このオンライン面会の担当になって、ご家族の声や顔が見えるだけで、こんなにも患者さんに勇気を与えるご家族の力の大きさを見て、その偉大さを知ることができました。

ご家族の声

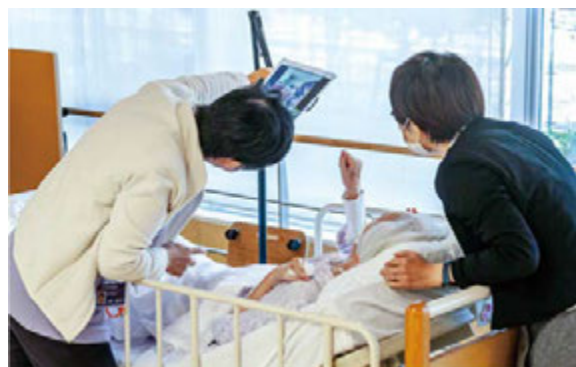
直接、顔を見て話ができ、表情や様子もわかって安心しました。離れた場所の家族とも一緒に面会ができて良かったです。忙しい中、対応して下さる職員の皆様に感謝しています。

患者さんの様子

Aさん：奥様に会うことを毎回とても楽しみにされています。

Bさん：お孫さんの登場に、涙ぐまれる場面もありました。

Cさん：初めはあまり乗り気ではなかったようですが、娘さんの姿を見るといっせいに表情がにこやかに。「元気だから心配しないですねー!」と、楽しそうにお話されていました。



スタートから2年弱が経ちました

当初は不慣れなパソコンや携帯電話を前に、ご家族も職員もちょっとした“混乱”がありました。しかし今では接続トラブルはほとんどなくなり、ご家族の皆様のご理解とご協力により、スムーズに運用することができています。同時に、IT弱者と言われるオンライン面会が叶わないご家族も存在する事を思います。その様なニーズにどのように寄り添うことができるか、今後の課題でもあります。オンライン面会を通して、患者さんやご家族からたくさんの感謝のお言葉をいただき、職員も心から「良かった」と思います。しかし、そう感じると共に、直接会って接することの重要性をより強く感じるようになりました。1日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、面会が再開できることを祈りつつ、このオンライン面会が今後も良い形として用いられるよう、引き続き大切に努めていきたいと思っております。

EVENT REPORT

創立83周年



3月1日（火）清瀬病院は創立83周年を迎えました。当日午後より書記長官西村保大佐補、軍国女性部書記西村和江少佐を迎え、チャペルでの集会とオンラインによるハイブリッド配信の形で創立83周年記念集会を行いました。席上、5名の永年勤続表彰を行いました。中には勤続50年の方がおられ、長きにわたる今までの働きに対し特別な感謝をお伝えしました。

永年勤続表彰者 一覧

勤続50年表彰：介護士1名

勤続20年表彰：介護士1名 / 病棟クラーク1名

勤続10年表彰：薬剤師1名 / 介護士1名

チャプレンの窓

チャプレン：野口恵子

～ 加えられた最後の1ページ ～

先日、長い年月を、緩和ケア病棟で過ごされたAさんが、天に召されました。Aさんは「死んだら無」という死生観のお方でした。ご自宅を離れ、病棟に入る前、思い出の家具、服、本…全ての持ち物を捨ててきたと、こちらが寂しくなってしまう程に、「生」に執着がなく、「無」に急いで向かうようなお方でした。

しかし、私が入職する前は、とても悩み苦しんでいるように見えたと聞いていました。そのような中、看護師、主治医、前任チャプレンもまた、沢山語り合いました。Aさんも、私たち、特に看護師たちも、心を差し出しながら、対話を重ねていきました。Aさんは、時に鋭いことを伝えてくださいました。それゆえ、その対話には、緊張感を伴うものもありました。その度に、深い対話が生まれ、私たちとの関係が練られていく日々でした。

その様な日々のある日、Aさんは優しい表情でこんなことを語られました。「ここへ来て、人生の最後の1ページが加えられた。とても彩り豊かな1ページなのよ」と。その時、もはや「無」に急ぐAさんではありませんでした。全てのものを捨ててきたAさんでしたが、最後の最後になにか、目には見えない大事なものを得たようでした。

Aさんが召された今、私たちの、特に日常のケアを沢山してくれていた病棟スタッフたちの心には”ぼっかり”と穴が開いています。この”ぼっかり”を感じる時、私たちもAさんにケアされていたのだと知ります。そして、この”ぼっかり”は、関わりが辛く逃げたくなる日もあったけれど、その葛藤も含めて、全人的な懸命な関わりのためだったのだと思います。共に、心を差し出しながら関わり合った日々は、良いものを生み出すのだと教えられました。その尊い営みに感謝しています。



愛は、すべてを完成させるきずなです。

コロサイの信徒への手紙 3章14節 新共同訳聖書



FRESH CREW

合同入職式



救世軍では毎年4月1日に、医療部・社会福祉部合同入職式を行っています。近年はコロナ禍によりオンライン形式での開催となっています。午前9時30分より清瀬小隊(隣接する教会)にて院長、副院長、看護部長、事務長、そして16名の新入職者が参加し、杉並小隊別館を会場としたZoom配信に併せて実施されました。司令官であるスティーブン・モーリス大佐の挨拶に始まり、吉田真中将、石川一由紀少佐より理念と救世軍の組織について講演がありました。皆さんを新しい仲間としてお迎えすることができ、大変うれしく思っています。皆さんのご活躍に期待しています。



キノコの梅和え

梅に含まれるクエン酸は唾液の分泌を促進し、胃液をはじめとする消化酵素の働きを活発にして食欲を増進させる働きがあります。みょうがの爽やかな香りはアルファピネンという精油成分でこちらも食欲を増進させる働きがあります。

エネルギー量：35kcal たんぱく質：2.2g 塩分量0.9g



材料 (1人前)

しめじ・・・30g
えのき茸・・・30g
しいたけ・・・20g
梅肉・・・5g
みりん・・・小さじ1
大葉・・・1枚
みょうが・・・5g
食塩・・・ひとつまみ

梅肉がご家庭にない場合は、梅干しでも代用可能です。
梅干しの場合は、包丁で細かく切ってください。

一品として食べるものいいですが、おそうめんや冷製パスタの具材として召し上がられてはいかがでしょうか。

【作り方】

- ① しめじとえのき茸の石づきを取って5センチほどに切ります。しいたけは軸と石づきを取って1ミリほどにスライスします。
- ② ①を耐熱容器に入れて軽くラップをかけ電子レンジ700Wで約2分30秒加熱します。
- ③ 電子レンジで温めている間に梅肉をみりんで伸ばします。
- ④ みょうがは半分に切って斜めにスライスします。大葉は細切りにします。
- ⑤ キノコ類の粗熱をとったら、③を入れて混ぜます。
- ⑥ みょうがと大葉を和えて、塩で味を調えれば出来上がりです。



INFORMATION

面会制限継続中

コロナ禍により、面会制限を継続しています。
ホスピス緩和ケア病棟は面会可能です。(※条件有)
詳しくはお問い合わせください。
引き続き、ご理解ご協力をお願い致します。

医療相談室による健康相談

ソーシャルワーカー(MSW)が、医療に伴う様々な心配事や不安について、ご相談をお受けいたします。入院や退院に関する課題、医療費や生活費などの経済的課題、施設や制度の利用や手続きの方法、病気や治療に関する不安、職場や家族関係の悩み、また誰に聞いたらよいか分からずにお困りのことなど、と一緒に考えながら、様々な課題についてより良い方向を見出せるように、お手伝い致します。

COVER PHOTO



今回の表紙の写真は燕子花 / 杜若(カキツバタ)アヤメ科。古来より日本にある植物で観賞用に多くの品種がみられます。水辺に群生し5月から7月にかけて青紫の花を咲かせます。「いずれ菖蒲か杜若」の慣用句があるように古くから慣れ親しまれた植物です。伊勢物語や尾形光琳の屏風絵などで有名。花言葉は「高貴」「思慕」「幸運は必ず訪れる」。どこかで見かけたらその美しさを堪能してください。

求む！看護師さん介護士さん ～ 資格保持者歓迎（ケアマネ等）～



救世軍清瀬病院では、一緒に働く仲間を募集しています！
当院は世界的なキリスト教団体である救世軍を母体とする病院です。
職種や部署に関係なく、互いに支え合いながらチームケアをおこなっている当院で看護師・准看護師・介護福祉士など、資格を活かしながら働いてみませんか？
無資格でも、介護にご興味のある方のご相談を承っています。
勤務形態や勤務時間についても、ご希望にあわせて柔軟に対応致します。
まずはお気軽にお電話にてお問合せください。
TEL：042-491-1411 人事担当宛



救世軍清瀬病院

The Salvation Army Kiyose Hospital

当院は宗教に関係なく、どなたでもご利用になれます。

「救世軍清瀬病院の理念」

私たちの病院は、キリストの愛の精神を模範とし、
病む者と家族の痛みを共有し、これを癒し、
祈りの心をもってこれを支えることを使命とします。

医療療養型病床74床/介護療養型病床43床/緩和ケア病床25床



救世軍について

英国に本部を置き、現在、世界132の国と地域で活動する国際的なキリスト教(プロテスタント)の教会です。日本での活動は1895(明治28)年に始まり、現在は43の小隊(教会にあたる)、2つの病院(ホスピス併設)、保育所、児童養護施設、婦人保護施設、特別養護老人ホーム、老人保健施設、アルコール依存症者支援施設などを通して働きを進めています。

TEL：042-491-1411 (代)

西武池袋線「清瀬」駅南口バス乗り場2番より「東京病院北」下車徒歩1分
西武新宿線「久米川」駅より清瀬駅南口行バス「東京病院北」下車徒歩1分
西武新宿線「花小金井」駅より清瀬駅南口行バス「東京病院北」下車徒歩1分